

新・千葉県自治会館が完成！

平成17年12月から行われていた千葉県自治会館建設工事が、平成19年5月31日に竣工し、工事請負者の鹿島・旭特定建設工事共同企業体から翌日引渡しが行われました。今後、6月中旬に引越しをし、7月2日(月)から本組合と関係団体が新会館で業務を開始します。

千葉県市町村総合事務組合

◇建物構成

現在の千葉県自治会館の老朽化に伴い、中央区市場町から中央区中央に建設が進んでいた新会館の建設工事が、丸1年6月の期間を費やし、今年の5月に完成いたしました。

新しい会館は、今までと同じ「千葉県自治会館」となります。

設計は、世界的な設計業者である株式会社日建設計が担当し、随所に斬新な技術が組み込まれた環境にやさしいハイテクビルとして、千葉県庁に近い、新都心ビル前に誕生しました。新会館は、県道本千葉停車場線と市道の交差点の角に位置し、県庁からは、数分の距離で、利便性を最大限考慮されています。

ここに、新会館の概要をご紹介します。

◇外観

外壁は、2重ガラス張り(ダブルスキン)を主体として、外光を積極的に採り入れ、明るく執務空間を確保しています。内外2枚のガラスの間にブラインドを設置し、夏は日射

で暖められた空気の浮力により外部に効果的に排出し、冬はダブルスキン内の空間を断熱層とすることにより窓周りの冷気の下降を防ぐことで、室内の空調の負荷を軽減しています。また、ダブルスキンは、2重ガラスにより遮音効果も期待できます。

地下部分は、鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄筋コンクリート)、地上部分は鉄骨構造とし、基礎は地盤改良の上に、直接基礎としています。耐震システムは、制振構造を採用し、地震後も大きな補修をすることなく建築物を使用できる構造としています。

◇構造

防災・防火
建物全体の不燃化を図るとともに、全館にスプリンクラーを設置。非常放送もリモコンマイクで利用できるなどの防災対策をしています。また、煙感知器を設置し、煙は機械排煙して確実に避難できるようにしています。

◇防災・防火

防犯は、通用口、地下入口、各階執務室への入退出に当たっては、非接触型カードを使っています。通用口、地下駐車場入口付近には、監視カメラを設置しています。

防犯は、通用口、地下入口、各階執務室への入退出に当たっては、非接触型カードを使っています。通用口、地下駐車場入口付近には、監視カメラを設置しています。

防犯は、通用口、地下入口、各階執務室への入退出に当たっては、非接触型カードを使っています。通用口、地下駐車場入口付近には、監視カメラを設置しています。

◇総事業費

種 別	事 業 費
用地取得費関係	683,659千円
基本・実施設計関係	118,426
工事費関係	3,068,573
什器備品関係	65,096
合 計	3,935,754

◇電話・ファクス

電話及びファクスは、平成19年7月2日から切り替わります。番号は左表のとおりです。

